

先日、下記のニュースレターvol.30を発信いたしましたが、こちらの編集ミスにより、読みにくい部分があり大変失礼いたしました。関係の皆様にご詫言するとともに、下記の通り再送させていただきますので、よろしくお願いいたします。

We revised the newsletter vol.30 because there were some difficult parts to read because of the editing mistake. We apologize deeply to the contributors and recipients.

Thank you.

This is a newsletter from Shinshu University International Center (SUIC).
In case this email newsletter is unreadable, please try the online version
http://www.shinshu-u.ac.jp/institution/suic/upload/pdf/publications/suicnewsletter_vol.30.pdf

◆◆◆ Vol.30 2011.5.12 ◆◆◆

◆◆◆
信州大学国際交流センター ニュースレター
Shinshu University International Center (SUIC) Newsletter
◆◆◆

◆◆◆◆◆

発行：信州大学国際交流センター (SUIC)
<http://www.shinshu-u.ac.jp/institution/suic/>

[今号の目次]

- * ごあいさつ
- * 最近の出来事
- * 信大NOW No. 68
- * スタッフ近況報告 (山本 もと子 先生)
- * 生活ちょっとコラム

■□

□ ごあいさつ

皆さん、こんにちは。東日本大震災後、はじめてのニュースレターとなります。今回の震災で犠牲となった多くの皆さんに謹んでお悔やみを申し上げるとともに、被災地の一日も早い復興を願うばかりです。

ここ松本でも、3月11日には体にはっきりと感じる揺れがありました。幸いにも信大各キャンパスにおいては何も被害はなく、通常どおりの生活を送ることができていますが、被災地のあまりにも甚大な被害の状況をテレビなどで見るたびに、自然の脅威と人間の無力さを感じてしまいます。しかし、日本はこれまでも何度も大きな震災にあい、そのたびに力を合わせて立ち上がってきました。今回も必ず復興できると信じ、私たちにできることをしていきたいと思っています！

また世界各国からの温かい支援や応援の言葉、本当にありがとうございます！

長野県観光部よりメッセージ

長野県観光部より、留学生帰国者のみなさんに次のようなメッセージをいただいておりますので、ご紹介させていただきます。

陽春の候、益々ご活躍のこととお喜び申し上げます。私は長野県観光部長の野池明登と申します。

3月11日の東日本大震災では、世界中の皆様にご心配をおかけしておりますが、皆様が安心して長野県で生活を楽しんでいただき、また、長野県に訪問していただくために、メールをさせていただきました。

長野県では4月15日、知事名により、「がんばろう日本！信州元気宣言」を出しました。
<http://www.pref.nagano.lg.jp/kanko/kankoki/genkisengen/genkisengen.htm>

長野県内のほとんどの地域は、大震災の影響はなく、普段と変わらず日常生活が営まれています。県内のキャンパスで学ぶ留学生も、震災の影響なく生活していただいておりますし、県内の観光地は、元気にお客様をお迎えしています。

皆様にゆかりのある日本の長野県の状況を正確にご理解いただくとともに、お家の方、友人にもお伝えいただき、多くの皆様が長野県にご来訪くださいますようお願い申し上げます。

平成23年(2011年)4月27日

長野県観光部長
野池 明登

また、県内の地震に関する情報、放射能などに関わる情報は下記の県庁ホームページでご覧いただけます。↓ ↓ ↓
<http://www.pref.nagano.jp/index.htm>

■ □

□ 最近の出来事

▼ トピックス

★ 4月4日、入学式が行われました

信州大学は4月4日、松本市美須々の市総合体育館で入学式を行い、8学部の新入生と編入学生2232人が期待を胸に新たな学生生活をスタートさせました。

式の冒頭で、東日本大震災の亡くなった被災者に向けて、1分間の黙とうが行われました。山沢清入学長は「安全・安心で人に優しい社会システムの構築が急務になっている。そのイノベーションの担い手として活躍することを期待する」とあいさつ。

式の後には、会場外やキャンパス内でサークルが勧誘合戦を展開。新入生は両手をピラでいっぱいにし、先輩の説明に耳を傾けていました。

★ 農援隊が長野県栄村震災復興支援活動を開始しました

本学農学部は、3月12日の長野県北部地震で被害を受けた栄村などの復興支援のため、4月4日、信州大学農学部栄村震災支援隊（略称：農援隊）を組織し、支援活動に着手しました。

現地での本格的な活動は5月以降になりますが、既に教員十数名からなる事務局を中心に、現地のボランティア組織等と連携しつつ、ボランティア募集や派遣スケジュール調整システムの構築など、現地活動の準備を進めています。

詳細はこちら ↓ ↓ ↓
<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/agriculture/news/2011/04/40362.html>

★ ファイバーナノテク国際若手研究者育成拠点の下里剛士助教が日本畜産学会奨励賞を受賞

本学ファイバーナノテク国際若手研究者育成拠点（南箕輪キャンパス）の下里剛士助教が、このほど日本畜産学会奨励賞を受賞しました。受賞題目は「微生物由来免疫刺激性オリゴヌクレオチドの新規構造と機能特性」です。今後、様々な疾病の予防や改善に寄与する新たな機能性食品・飼料素材の開発に繋がるものと期待されます。

詳細はこちら ↓ ↓ ↓
<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/agriculture/news/2011/04/40284.html>

★ 国土交通省「“水のめぐみ”とふれあう水の里の旅コンテスト2011」で人文学部生考案企画が大賞受賞！

人文学部「文化情報論特論」の課外活動として企画した旅行プラン「めぐり！信州大町うるおいの2日間」が国土交通省「“水のめぐみ”とふれあう水の里の旅コンテスト2011」で大賞を受賞しました。

この企画は、平成20年度から続けてきた大町市と信州大学「地域ブランド共同研究」の取り組みの一つで、昨年度の「黒部ダムカレー」の製品化に続く第2弾になります。共同研究を担当する産学官連携推進本部「地域ブランド・オフィス」では、年度内に旅行プラン試行を目指し、将来的には多様な企画を提供したいと考えています。

詳細はこちら ↓ ↓ ↓
<http://www.shinshu-u.ac.jp/topics/2011/04/2011.html>

■ □

□ 信大NOW No. 68のご案内

信州大学のニュース、歴史や人にまつわる記事、イベントや公開講座の紹介、研究者の研究内容など、信州大学が良くわかる広報誌「信大NOW」。最新号の目次を紹介します。

<No. 68>

◎特集1：寄贈品研究 ● 芸術家2万点の遺品

資料は語る

山を愛し、人を愛し、芸術を愛し抜いた石井鶴三の日常

◎特集2：地域と歩む。信州大学 其の壱

大学の地域貢献度ランキング

飯山小菅地区の伝統・文化を掘り下げる

◎信大発イノベーションクリップ：地域に「知」を生かす産学官連携
6次産業化の原型にフォーカス！
農商工連携のキーパーソンを輩出した信州直売所学校

◎Special Report1：医学部合同新入生ゼミナールの取り組み
チーム医療の基盤をつくる

◎Special Report2：学生支援を考える②
日常生活をスムーズに送るために
ライフスキルワークショップの開発

◎話題の信大生たち⑦
海外ボランティアに挑む。
加藤新さん 青年海外協力隊任務を終えて帰国

◎学生企画ページ：
学生生活！！突撃隊 ～裁判員制度インタビューと一言スナップ～

◎信大OBが選んだキャンパス一景：
「唯一残っている木造建築物」

全文は信州大学の公式Webサイト上でデジタルパンフレットとして公開
されていますので、ぜひご覧ください。↓ ↓ ↓
<http://www.shinshu-u.ac.jp/guidance/publication/#publication>

■□

□ スタッフ近況報告 山本 もと子 先生（国際交流センター非常勤講師）

もうすっかり桜も散ってしまい、青葉が美しい季節になりました。皆さん、
お元気ですか。

皆さんもご存知の通り、3月11日に東北地方で大地震が起きました。何度も
ニュースで流れる映像に私は涙が止まりませんでした。2か月経った今でも、
被災地で過ごされている方々が大勢いらっしゃいます。大切な家族を失った
方々や、家や仕事を失った方々の気持ちは私たちには想像できないほどの悲
しき、苦しさでしょう。

一方で、私の周りではいつもと変わらない日常が過ぎていきます。4月には
桜が咲き、新しい制服に身を包んだ中学生が楽しそうにおしゃべりしながら
歩いています。私自身も新学期になり、新しいクラスが始まりました。あまり
にも以前と同じで、信州大学に在ると、被災地の方々のことを忘れそうにな
ります。しかし、毎日、うちに帰って、新聞やテレビのニュースを見るたびに、
「決して過去の出来事にはしては行けない。みんなが支え合って、日本をまた笑顔
がいっぱいの国にしなければならぬ。」と思い出します。

そこで、今、私にできることは何かを考えました。被災地への寄付はもちろん
行いました。それ以外に、自分のうちでできること、そう、「節電」をする
ことにしたのです。福島原発が破壊され、今年の夏は関東地方では電力不足
になるかもしれないと不安な声が聞かれます。私の住んでいる松本は大丈夫
かもしれませんが、がんばって節電して、節約できた電気代をまた寄付しよう
と思いついたのです。節電・節水は環境にも優しいので、一石二鳥です。

実は、私の趣味は登山なのですが、子どもが生まれてからなかなか行く機会が
ありません。その代わりに、毎年、家族でキャンプを楽しんでいます。今の
キャンプ場はAC電源が付いていたり、全部のテントサイトに水場があったり、
とても便利です。しかし、我が家が利用するのは昔ながらのキャンプ場。遠い
水場まで水を汲みに行き、夜はランタンの灯りだけ。その代わり、子どもたち
はテレビやゲームの音ではなく、川のせせらぎや、鳥や虫の鳴き声に耳を傾けて
います。電気や水が少ししかなくても、楽しい生活はできます。ですから、うち
での生活もキャンプ場だと思って、楽しく「エコ生活」をしています。例えば、
こんなことです。皆さんのエコ生活はどのレベルでしょうか。

初級編（子どもたち）：使わない部屋の電気は消す、食べ物は残さない、
水を出しっぱなしにしない、なるべく同じ部屋で過ごす
（→電気も暖房もひとつで済みます！）

中級編（夫）：自転車通勤（毎日、片道45分走っています）、
お弁当持参（外食より安くて、おいしいです！）

上級編（私）：食材はなるべく捨てない（大根だったら、皮はキンピラにして、
細い部分は味噌汁の具にします。それに、葉の部分は切って水に
つけておくと、青葉がどんどん出てくるので、細かく切って
チャーハンに入れます！）

皆さんもぜひ楽しくエコ生活してください。世界中の人々がエコ生活をする
と、地球にとっても優しくなります。電化製品に頼る生活よりも、エコ生活の方が
頭を使うので楽しいですよ！

■□

□ 生活ちょっとコラム ～雪形のはなし～

厳しかった信州の冬もようやく終わり、温かい春の日差しが嬉しい毎日です。
松本キャンパスの桜は4月中旬に見ごろを迎え、桜吹雪の舞い散る中、多くの
新入生が期待に胸を膨らませ歩いている姿を見て、本当に良い季節になった
なあと感じました。

このころになると、真っ白だったアルプスの山々の雪も次第に解け、山肌に
様々な模様が浮き出てきます。
信州の人々は、昔からこの模様を人物や動物の形になぞらえて、生活の中に
生かしてきました。たとえば、山に馬の形が浮き出てきたら、田を耕して水を
いれる、などです。他にも種まき爺さんや、春を告げる蝶の形などがあります。
西洋の星座のように、昔の人は想像力が豊かだったのですね。中にはどんなに
説明されてもなかなか見つけられないものもありますが・・・。

私が個人的に好きなのは爺ヶ岳の種まき爺さんです。私の出身地、安曇野の
北の地方でよく見える山で、昔はこのお爺さんの姿が現れたら、そろそろ畑に
種をまいてもよい、という目印だったそうです。
実はこれも、お爺さんと鳥、とか、お爺さん&お婆さん、などいろいろな説が
あるのですが、自分なりに想像して、頭の中で勝手に物語をつくってみたり
するのも楽しいです。

北アルプスの雪形が分かりやすく紹介されているページがいくつかあります
ので、興味のある人は訪ねてみてくださいね。↓ ↓ ↓
<http://www.asahi-net.or.jp/~pb3i-itkr/yukigata/yukigata.htm>
<http://www.hakubamura.net/yukigata/yukigata.htm>

●○○●○○●修了者データベース登録のお願い○○●○○●○○●

国際交流センターでは、留学生の帰国後のフォローアップの一環として、
データベースの作成と活用をすすめています。まだこのフォームを提出
されたことのない方は、ぜひ記入にご協力下さい。

このニュースレターの配信先メールアドレス変更もこちらからお願いします。

<http://www.shinshu-u.ac.jp/institution/suic/alumni/database/alumni-database.html>

●○○●○○●○○●○○●○○●○○●○○●○○●○○●○○●○○●○○●

◆配信元：信州大学国際交流センター(SUIC) 文責：西牧
〒390-8621 長野県松本市旭3-1-1
Tel: 0263-37-3167 / Fax: 0263-37-2181
<http://www.shinshu-u.ac.jp/institution/suic/>

◆連絡先：iad@shinshu-u.ac.jp

*各種お問い合わせ
*配信停止希望
*メールアドレスの変更のご連絡
*情報掲載のご希望
*ご意見、ご感想 など